USB2.0

T.sonic™ 310

ユーザーマニュアル

P/N：TS512MMP310

P/N：TS1GMP310

Transcend

Exceeding Your Expectations

はじめに

トランセンドの**T.sonic™ 310**をご購入いただき誠にありがとうございます。このユニークな小型デバイスは**USB**フラッシュドライブに**MP3**プレーヤーが組み合わされており、ファイル/フォルダ/ドキュメント/画像/音楽の保存だけでなく、音楽をお楽しみいただくことができます。デスクトップやノートブックコンピュータへは直接接続するだけでデータ転送や充電が行えます。また、タッチパッドが採用されており、操作も驚くほど簡単になっています。

パッケージ内容

T.sonic™ 310 のパッケージには以下が同梱されています。

- **T.sonic™ 310**
- イヤホン
- ドライバ CD
- USB 延長ケーブル
- クイック操作ガイド

特色

- MP3/WMA フォーマットに対応の MP3 プレーヤー
- USB 2.0/1.1 仕様に準拠
- フル充電で最大 18 時間の連続再生が可能なリチウムイオンバッテリーを内蔵
- タッチパッドコントローラ
- 取付けが簡単なプラグ&プレイに対応
- **T.sonic™ 310** をコンピュータのキーとして設定可能な PC ロック機能
- **T.sonic™ 310** をブートアップデバイスとして使用できるブートアップ機能
- **T.sonic™ 310** にパスワード保護付プライベートパーティションが作成できるパーティション機能
- USB ポート経由で直接電源を供給するフラッシュドライブ
- **T.sonic™ 310** の使用状態を表示する LED を搭載

システム動作環境

USB ポート搭載のデスクトップまたはノートブック

以下のオペレーションシステムのうちいずれか

- Windows® 98SE
- Windows® Me
- Windows® 2000
- Windows® XP

- Mac™ OS 10.0 以降
- Linux™ Kernel 2.4 以降

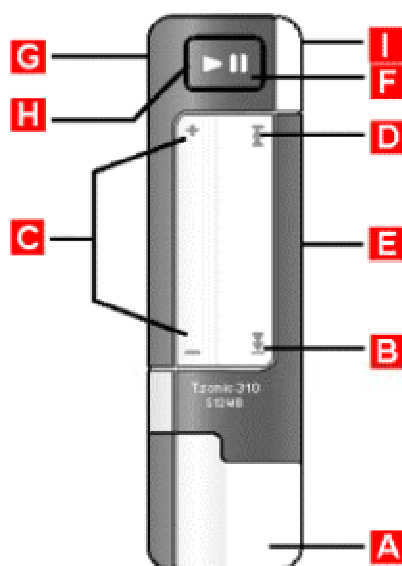
ご使用する前に

1. **T.sonic™ 310** を高熱、直射日光、湿気から避けてください。折ったり曲げたり落としたりしないようご注意ください。
2. 電源を入れる前にロックスイッチが解除されていることを確認してください。
3. **T.sonic™ 310** を取付け/取外しの際は側面をお持ちください。
4. **T.sonic™ 310** を取り外すときは **"T.sonic™ 310** の正しい取り外し方" の手順に沿って行ってください。

警告: 聴覚障害のリスク

1. 習慣的にヘッドホンやイヤホンを使用し、80 デシベル以上で音楽を聴いていると大きな音でも音量が充分ではないという誤った感覚になることがあります。音量を徐々にコントロールし、耳へのダメージ、リスクを減らしてください。
2. 聴覚を守るために MP3 プレーヤーの音量を 80 デシベル以下にして、長時間のご使用は避けてください。頭痛、吐き気、聴覚障害などの症状が現れた場合はご使用をやめてください。
3. MP3 プレーヤーの音量は 100 デシベルまでに制限されています。
4. MP3 プレーヤーとイヤホンはウォークマン用のフランス規格に準拠しています。(1998 年 7 月 24 日規定)
5. ヘッドホンを使用する場合は、仕様が付属のイヤホンと同等であるかを確認してください。

製品概要



A: USBコネクタ
B: 早送り/次のトラックへ進む
C: 音量を上げる/下げる(スライドアップ/ダウン)
D: 巻戻し/前のトラックに戻る
E: ロックスイッチ
F: PLAY/PAUSE & PWR ON/OFFボタン
G: イヤホンジャック= PWR ON/OFF
H: LED (PWR & Activity)表示灯
I: ネックストラップ取付け穴

バッテリーの充電



T.sonic™ 310 を初めて使用する際には、少なくとも **12** 時間以上バッテリーを充電してください。

1. **T.sonic™ 310** をデスクトップ/ノートブックコンピュータに接続します。
2. バッテリーの充電中は LED が赤く点灯します。
3. バッテリーの充電が完了すると LED が緑に点灯します。
4. **T.sonic™ 310** をフル充電するには約 4 時間、80%の充電には約 3 時間がかかります。
5. フル充電した場合、最大で約 18 時間の MP3 連続再生が可能です。

LED 表示内容



LED が赤に点灯し始めたとき、約 **2** 時間分の再生に対応するバッテリーが残っています。

MP3 プレーヤーモード

- LED が緑に点灯しているときは、バッテリーを充電する必要はありません。
- LED が赤に点灯している場合、バッテリーの充電が必要です。LED が赤に点灯し始めたとき、約 2 時間分の再生に対応するバッテリーが残っています。
- ロックスイッチが有効になっているときに **T.sonic™ 310** の電源を入れようとすると、LED は赤く点灯します。
- 電源を入れた **T.sonic™ 310** に、音楽ファイルがロードされていない場合、LED は始め緑に点灯し電源がオンになったことを表示しますが、その後、赤に点滅します。



フラッシュドライブモード

- バッテリーがフル充電されると LED が緑に点灯します。
- バッテリーの残量が少なくなると LED が赤に点灯します。



基本操作



MP3 プレーヤーとして使用する場合はイヤホンを接続してください。**T.sonic™ 310** の動作が停止した場合は、イヤホンを取り外した後、再度取り付けてプレーヤーをリセットしてください。

電源オン

イヤホンを取り付け、**PLAY/PAUSE** ボタンを押してユニットの電源を入れます。LED が緑に点灯している場合、動作可能な状態でバッテリーが十分に残っていることを示しています。LED が赤に点灯している場合、動作不能であるかバッテリーの充電が必要であることを示しています。

電源オフ

LED が消灯するまで **PLAY/PAUSE** ボタンを長押しするか、イヤホンを取り外します。

トラックの再生

PLAY/PAUSE ボタンを押して MP3/WMA ファイルを再生します。

トラックの一時停止

再生中に **PLAY/PAUSE** ボタンを押してトラックを一時停止します。**5** 分以上トラックを一時停止すると、**T.sonic™ 310** は自動的に電源オフします。

次のトラックへ進む

タッチパッドの **[B]** を軽く押して次のトラックへ進みます。

前のトラックに戻る

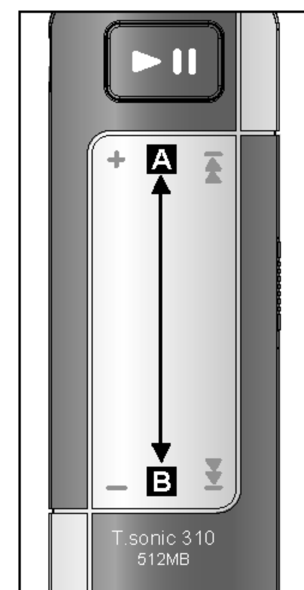
タッチパッドの **[A]** を軽く押して前のトラックに戻ります。

早送り

タッチパッドの **[B]** を押し続けて早送りします。

巻戻し

タッチパッドの **[A]** を押し続けて巻戻しします。



Touch Pad

音量を上げる

タッチパッドを **[B から A]** の方向にスライドさせ適度と思われる音量になるまで調節します。

音量を下げる

タッチパッドを **[A から B]** の方向にスライドさせ適度と思われる音量になるまで調節します。

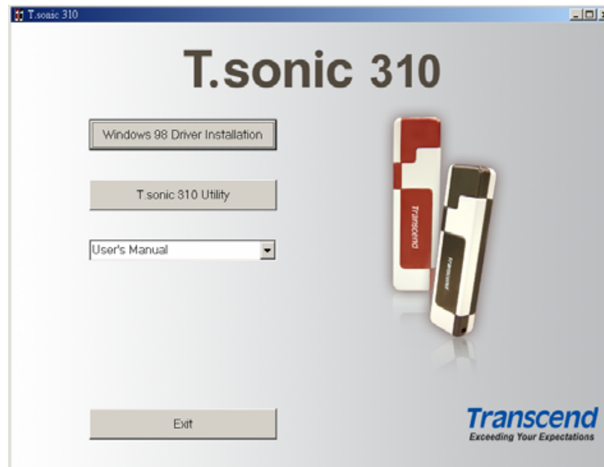
ロック

ロックスイッチを“ ”の位置に設定した場合、すべての操作は無効になります。

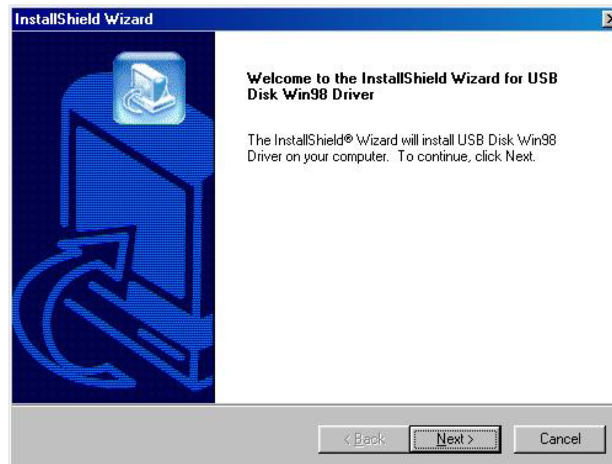
ドライバのインストール

Windows® 98SE へのドライバのインストール

1. ドライバ CD を CD-ROM(オートラン対応)に挿入します。**Window® 98 Driver Installation** ボタンをクリックします。



2. “**Next**”をクリックして続けます。



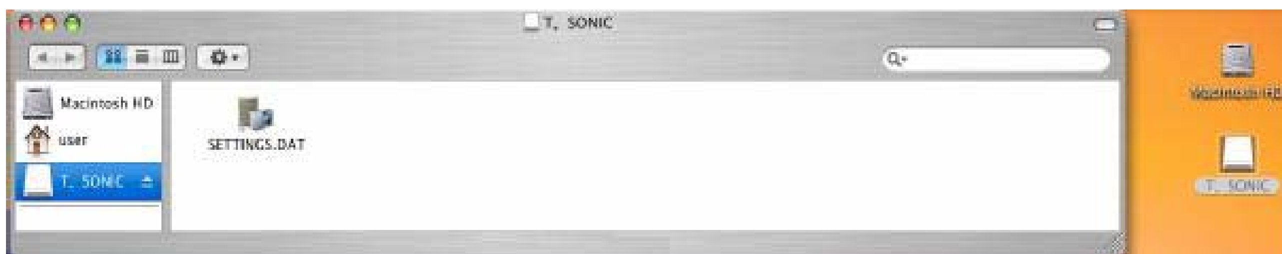
3. インストールシールドウィザードが現れインストール手順をガイドします。
4. ドライバのインストール完了後、**T.sonic™ 310** を利用可能な USB ポートに挿します。”**New Hardware Found** (新しいハードウェアを見つけました)”ダイアログボックスが表示されます。
5. コンピュータが自動的に新しいデバイスを認識します。**マイコンピュータ**で、新しい **Removable Disk** (リムーバブルディスク)のドライブが確認できます。

Windows® Me/2000/XP へのドライバのインストール

ドライバは必要ありません。これらの OS 上では **T.sonic™ 310** はデフォルトでサポートされています。利用可能な USB ポートに接続するだけで、OS 側でデバイスに必要なファイルをインストールします。**マイコンピュータ**で新しいリムーバブルディスクとしてご確認いただけます。

Mac™ OS 10.0 以降へのドライバのインストール

ドライバは必要ありません。利用可能なUSBポートに差し込むだけで、OS側で自動認識します。(USBのドライバをアップデートする必要がある場合があります。)



Linux™ Kernel 2.4 以降へのドライバのインストール

ドライバは必要ありません。ご利用可能なUSBポートに差し込みマウントします。

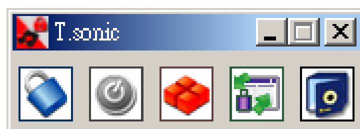
例:

1. **/mnt/T.sonic**のディレクトリーを作ります。
   mkdir **/mnt/T.sonic**
2. **T.sonic**をマウントします。
   mount –a –t msdos **/dev/sda1 /mnt/T.sonic**

ユーティリティのインストール

1. ドライバ CD を CD-ROM(オートラン対応)に挿入します。**T.sonic™ 310 Utility** ボタンをクリックします。
2. 画面上の指示に従ってユーティリティのインストールを完了します。
3. Start -> Programs -> T.sonic 310 -> T.sonic 310 Utility の順でユーティリティプログラムを実行します。

❖ PC ロック機能は Mac や Linux の OS には対応していません。



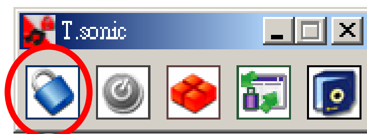
PC ロック機能

PC ロック機能を設定すると、**T.sonic™ 310** をお使いのコンピュータのキーとして使用でき、権限のないユーザーからコンピュータを保護することができます。

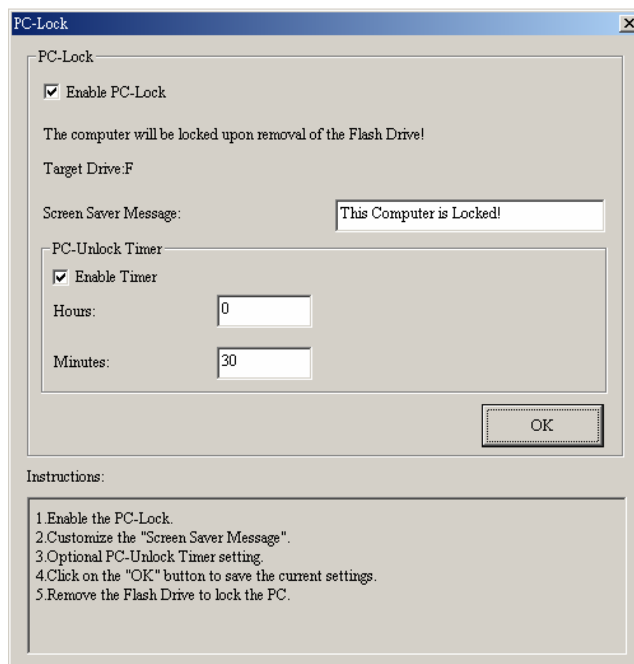
❖ PC ロック機能は Mac や Linux の OS には対応していません。
❖ PC ロック機能を利用するためには、Windows OS に**管理者**としてログインしている必要があります。

Windows® 98SE/Me/2000/XP での PC ロック機能

1. **T.sonic™ 310** ユーティリティウィンドウの **PC** ロックボタンをクリックします。



2. 次頁のウィンドウが現れます。



3. この画面でスクリーンセーバーのメッセージや**PC**ロック解除タイマーを変更し、**PC**ロック機能の設定(有効/無効)を行います。

コンピュータのロック

PCロック機能を設定後、**T.sonic™ 310**をコンピュータから取り外すとご使用のコンピュータはロックされます。コンピュータがロックされている場合、下図の画面が表示されます。



コンピュータのロック解除

コンピュータのロックを解除する場合は、**T.sonic™ 310**をコンピュータに取り付けてください。ロック状態を表示する画面が消え、コンピュータを自由に使用することが可能になります。尚、設定したロック時間が経過した場合、コンピュータのロックは自動的に解除されます。

ブートアップ機能

T.sonic™ 310 を MS-DOS ブートディスクのように構成させることができます。下記の通りに適切な手順で OS のセットアップを行えば、**T.sonic™ 310** で MS-DOS プログラムの実行を許可し、コンピュータのブートアップ(起動)を行うことができます。この機能は **T.sonic™ 310** を Windows のレスキューディスクにしたり、**T.sonic™ 310** 上で Windows のスタートアップファイルを実行させるものではありません。**T.sonic™ 310** でコンピュータを起動させると、システムは MS-DOS のコマンド画面で開始されます。Windows で起動させたい場合は、ハードドライブまたは前もって作成されたレスキューディスクで再起動してください。

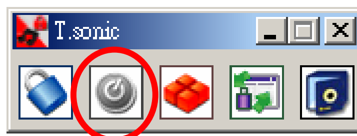
❖ ブートアップ機能を利用するためには、Windows OS に管理者としてログインしている必要があります。

ブートアップ機能に必要なシステム動作条件

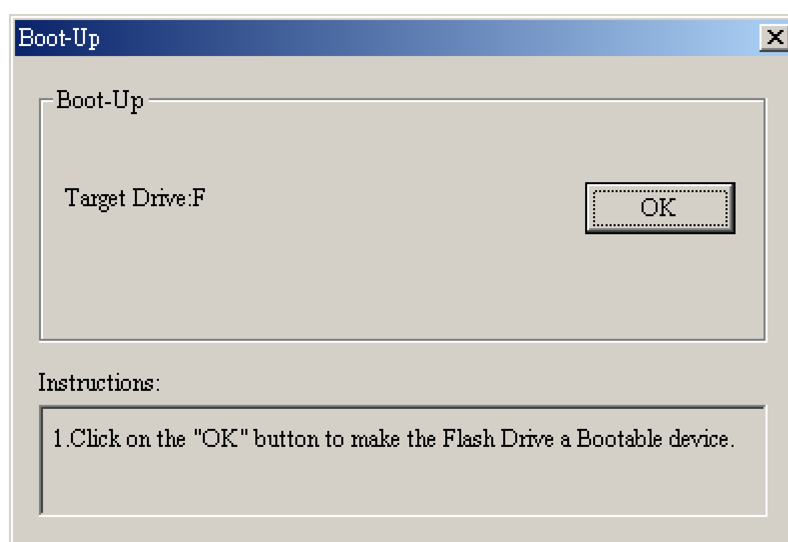
- **BIOS** で**[First Boot Device (第一ブートデバイス)]**として **USB-ZIP** または **USB-HDD** をサポートするデスクトップまたはノートブックコンピュータ

ブートアップ機能の設定

1. **T.sonic™ 310**ユーティリティウィンドウのブートアップボタンをクリックします。



2. 下図のウィンドウが現れ、ブートタイプ(**USB HDD** または **USB ZIP**)を設定し、**Create Boot Disk** を選択します。(どちらのタイプも **BIOS** で **First Boot Device** として設定されています。)



3. “OK”ボタンをクリックし、フラッシュドライブをブートアップデバイスに設定します。

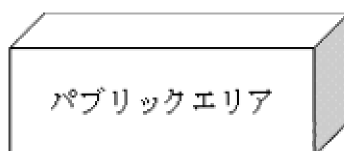
パーティション&セキュリティ機能

パーティションのタイプ

T.sonic™ 310 では 2 種類のパーティションに分けることができます。

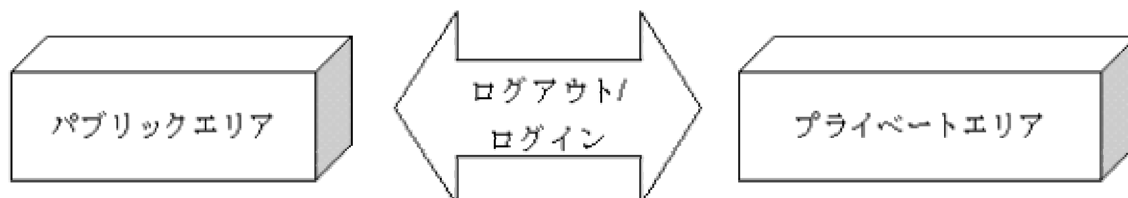
タイプ 1: “パブリックエリアのみ”

T.sonic™ 310 のデフォルトのパーティションタイプです。このタイプの場合、誰もが **T.sonic™ 310** のメモリ全体にアクセスできます。機密データ用のエリアはありません。

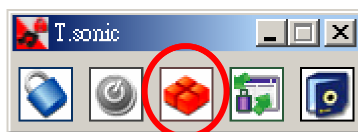


タイプ 2: “パブリック&プライベートエリア”

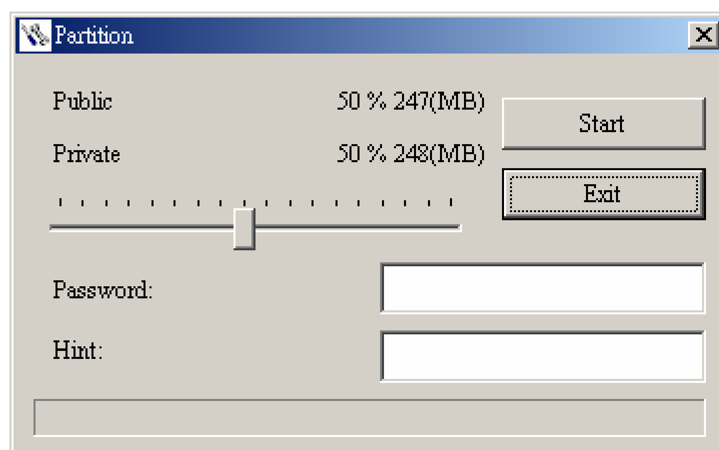
T.sonic™ 310 は論理ユニット番号(LUN)で識別されるデバイスになり、パブリックエリアとプライベートエリアで構成されます。機密データはパスワードで保護されるプライベートエリアに設置できます。それに対し、パブリックエリアにあるデータへのアクセスは制限されません。



1. **T.sonic™ 310** ユーティリティウィンドウのパーティションボタンをクリックします。



2. 下図のウィンドウが現れます。

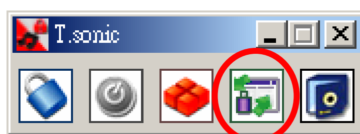


3. パーティションのパーセンテージをディスクボリュームバーで調節します。また、プライベートエリアにログインするためのパスワードとパスワードを忘れてしまった場合のヒントを入力します。

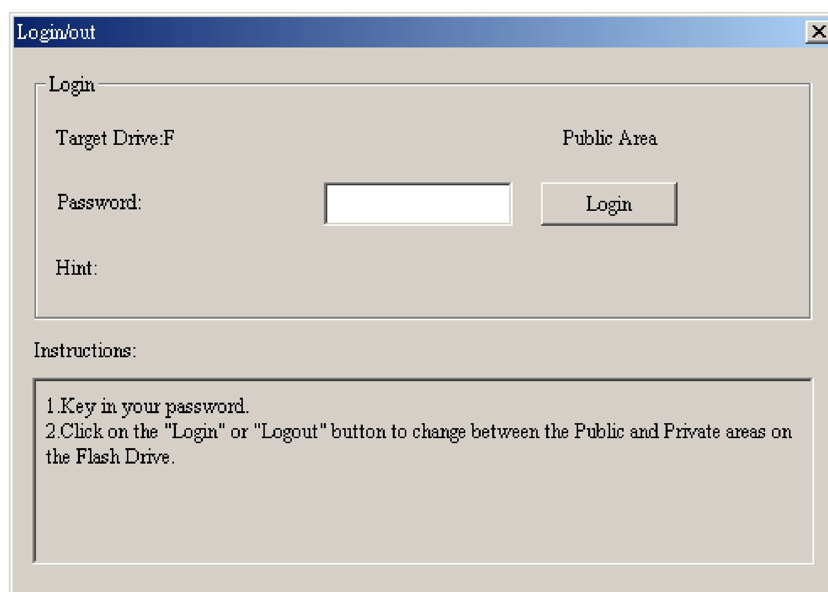
4. **"Start"**ボタンをクリックし、パーティションの設定を完了します。

プライベートエリアへのデータアクセス

1. **T.sonic™ 310** ユーティリティウィンドウの**ログイン/ログアウト**ボタンをクリックします。



2. 下図のウィンドウが現れます。



3. パスワードを入力し、**ログイン**ボタンをクリックします。

4. プライベートエリアが表示され、ご使用いただけます。

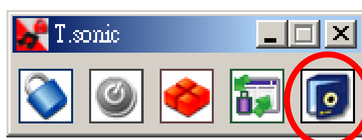
プライベートエリアからのログアウト

1. すべてのファイルが閉じられていることと **T.sonic™ 310** とデータ転送が行われていないことを確認します。

2. **T.sonic™ 310** ユーティリティウィンドウの**ログアウト**ボタンをクリックします。プライベートエリアからのログアウトが完了すると、パブリックエリアのデータにしかアクセスできないようになります。

パスワードの変更

1. **T.sonic™ 310** ユーティリティウィンドウの**パスワード**ボタンをクリックします。



2. 下図のウィンドウが現れます。

New Password

Password:

New Password:

Confirm:

New Hint:

OK

3. **Password** (古いパスワード)、**New Password** (新しいパスワード)、**Confirm** (新しいパスワードの確認)を各欄に入力します。(設定できるパスワードは半角で最大 8 文字です。) **New Hint** (新しいパスワードのヒント)も入力し、“**OK**”をクリックします。

パスワードを忘れたときには

パスワードを忘れてしまった場合、パスワードのヒントを参照することができます。パスワードのヒントを参照してもパスワードを思い出すことができない場合は、パーティション機能を起動して **T.sonic™ 310**に再度パーティションを作成し直してください。但し、この場合、”プライベートエリア”のデータはすべて失われることになります。”パブリックエリア”のデータについてはバックアップをとることができますが、”プライベートエリア”のデータの復旧はできません。

リカバリー機能

T.sonic™ 310 が損傷を受けた場合、リカバリープログラムを起動してユニットを初期設定に戻すことができます。リカバリー機能を使用する前に以下の点に特に注意してください。

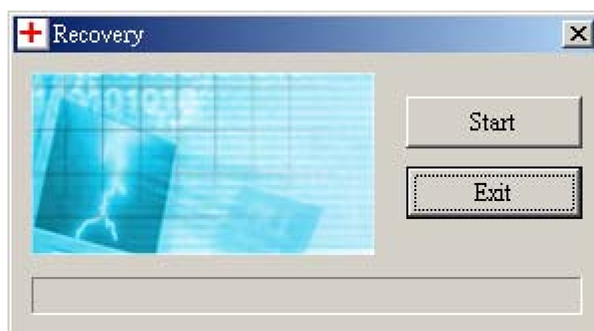
❖ リカバリー機能は、Mac や Linux の OS には対応していません。

❖ リカバリー機能を利用するためには、Windows OS に管理者としてログインしている必要があります。

❖ リカバリープログラムを実行すると、**T.sonic™ 310** のすべてのデータが消去されます。

❖ **T.sonic™ 310** のフラッシュメモリチップに不良ブロックがある場合、リカバリープログラムを実行後に **T.sonic™ 310** のメモリ容量は元のメモリ容量よりも小さくなります。

1. Start -> Programs -> T.sonic 310 -> Recoveryの順でリカバリーユーティリティを起動します。
2. 下図のウィンドウが現れます。



3. **“Start”**ボタンをクリックし、**T.sonic™ 310**の初期化を開始します。

T.sonic™ 310 の正しい取り外し方

Windows® 98SE から T.sonic™ 310 を取り外すには

データが転送されていないときに **T.sonic™ 310** をシステムより取り外してください。

Windows® Me/2000/XP から T.sonic™ 310 を取り外すには

1. システムトレイにある アイコンを選択してください。
2. **Safely remove USB Mass Storage Device – Drive (F:) [USB** 大容量記憶装置デバイス – ドライブ**(F:)**を停止します**]**というポップアップメニューが現れます。クリックして続けます。



3. **The ‘USB Mass Storage Device’ device can now be safely removed from the system. (**デバイスは安全にシステムから外すことができます**)**というメッセージボックスが現れます。



Mac™ OS 10.0 以降/Linux™ Kernel 2.4 以降から T.sonic™ 310 を取り外すには

T.sonic™ 310 のディスクアイコンをドラッグ&ドロップでゴミ箱に入れてください。それから USB ポートから **T.sonic™ 310** を外してください。

トラブルシューティング

もし故障が生じた場合は、修理に出す前にまず下記の項目をチェックしてください。下記の項目を試しても改善されなかった場合は、販売店、サービスセンター又は現地のトランセンドオフィスまでお問い合わせください。ウェブサイトでも FAQ とサポート情報を公開しております。

Windows®でドライバ CD がオートランになりません

コントロールパネルにあるデバイスマネージャーをクリックして CD-ROM ドライブのオートラン機能を有効にしてください。他の方法としてはドライバ CD から **t310.exe** をマニュアルで実行することができます。

OS が T.sonic™ 310 を認識しません

下記の項目をチェックしてください。

1. **T.sonic™ 310** が正しく USB ポートに接続されていますか? 接続されていない場合は、一度取り外してから再度接続してください。
2. **T.sonic™ 310** が Mac キーボードに接続されていませんか? 接続されている場合は、キーボードから取り外して Mac デスクトップの USB ポートに接続してください。
3. その USB ポートは利用可能ですか? 利用可能でない場合は、ご使用のコンピュータ(又はマザーボード)のマニュアルを参照して利用可能な状態にしてください。
4. 必要なドライバがインストールされていますか? ご使用のコンピュータが Windows® 98SE の場合は、ドライバ CD からドライバをインストールしなければなりません。**T.sonic™ 310** をご使用になる前に"**Windows® 98SE** へのドライバのインストール"を参照してドライバのインストールを完了してください。また、Windows® ME/2000/XP、Mac™ OS 10.0 以降、Linux™ kernel 2.4 以降にはドライバは必要ありません。

電源が入りません

下記の項目をチェックしてください。

1. **T.sonic™ 310** がコンピュータに接続中は電源が入りません。接続されている場合は、取り外してください。
2. ロックスイッチが有効になってはいませんか? その場合は、解除してください。
3. イヤホンがイヤホンジャックに接続されていますか? 接続されていることを確かめてください。
4. **T.sonic™ 310** に十分なバッテリーが残っていますか? バッテリーがない場合は、充電してください。

T.sonic™ 310 へ MP3/WMA ファイルをダウンロードできません

ドライバをアンインストールしてから再インストールしてください。

ボタンを押しても動きません

ロックスイッチが有効になっていないか確認してください。ロックされている場合は、解除してください。

トラックを再生して聴けません

下記の項目をチェックしてください。

1. **T.sonic™ 310** のルートディレクトリに MP3 または WMA ファイルがありますか? ない場合は、まず始めにコンピュータまたはインターネットから音楽ファイルをダウンロードする必要があります。(32Kbps–320Kbps のレートで圧縮された Mpeg I レイヤー3 と WMA ファイルのみに対応しています。)
2. イヤホンは正しくイヤホンジャックに接続されていますか? 接続し直して確認ください。
3. 音量は適当ですか? タッチパッドをスライドさせて音量を調節してください。

トラックの再生サウンドが断続的にとぎれます

イヤホンをジャックに接続し直して、正しく接続されているか確認してください。

T.sonic™ 310 が正常に動きません

T.sonic™ 310 が動かなくなった場合、イヤホンを取り外し、接続し直すことでリセットされます。

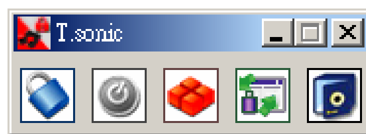
T.sonic™ 310 へコピーしたファイルが見つかりません

再度ファイルをコピーし、コピーが完了後に、"**T.sonic™ 310** の正しい取り外し方"を参照して **T.sonic™ 310** を取り外してください。

削除したはずのファイルがまだあります

再度ファイルを削除し、削除が完了後に、"**T.sonic™ 310** の正しい取り外し方"を参照して **T.sonic™ 310** を取り外してください。

ユーティリティを実行できません



ユーティリティを実行するためには、Windows OS に管理者としてログインしている必要があります。

仕様

• サイズ:	85.5 mm × 23.8 mm × 12 mm
• 重量:	29g (バッテリーを含む)
• データ保持期間:	最大 10 年
• 消去サイクル:	100,000 回以上
• SN 比:	83dB 以上
• 最大再生時間:	フル充電状態で約 18 時間
• 音楽フォーマット:	MP3、WMA
• 圧縮率:	32Kbps～320Kbps
• 認証:	CE、FCC、BSMI

ご注文情報

メモリ容量	トランセンド製品型番
512MB	TS512MMP310
1GB	TS1GMP310

T.sonic™保証規定

“枠を越えて、更に上に”はトランセンドのカスタマーサービスにおける姿勢です。私たちは常に自身を業界基準よりも高い位置に置くように心がけています。それはお客様の満足を得られるための私たちの義務だと思っております。

トランセンドの製品は全て保証付きで、不良品のないようにテストを受け、公示している仕様に準拠していることを確認しています。トランセンドの **T.sonic™**が、推奨された環境において通常の使用をしている間に、製造や部品の不備のせいで不具合が起きた場合、保証期間内であれば修理もしくは同等の製品との交換を行います。ここでは保証の条件と制限事項について述べます。

保証期間: トランセンドの **T.sonic™**の保証は、購入日から 2 年間有効です。保証サービスを受けるには、購入日を証明するものが必要となります。トランセンドは製品を検査し、修理可能であるか、交換が適当であるかどうかを査定します。修理か交換の決定はトランセンドにお任せください。トランセンドでは該当製品と機能的に同等である製品と交換する権利も保有させていただきます。

制限事項: 本保証は、事故、不正扱い、酷使、不正な取付け、改造、天災、間違った使用、電気的問題などによる不良には適応いたしません。また、製品ケースの取り外し、品質シールや製品シリアル番号を含めた製品表面の物理的ダメージ、誤用、改変が認められる製品の保証はいたしません。トランセンドは、ハードディスクやフラッシュメモリデバイスの故障によるいかなるデータの損失について復旧の責任を負いません。トランセンドの **T.sonic™**は業界基準に沿っていることが確認されたデバイスと一緒にご使用してください。トランセンドはサードパーティのデバイスとの併用で生じたトランセンド製品不具合によるダメージについての責任は負わないこととします。また、後発的、間接的又は偶発的なダメージや、負債、投資の損失、データの損失によるビジネス弊害などについても一切の責任を負わないこととします。また、サードパーティの装置のダメージや故障については、その可能性を認知していたとしても責任を負いません。この制限は、適用法令外やその法令が強制されない範囲では適用されません。

おねがい

故障品の修理/交換の受け付けは弊社に送付いただくことで受け付けております。返送時は弊社負担ですが送られるときは送料をご負担ください。

本製品は将来改良の為予告なく変更する場合があります。

本保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理につきましては、お買い上げの販売店もしくは弊社サポートセンターにお問合せください。

保証サービスを円滑に行うために、購入日から **30** 日以内に製品登録を行ってください。

http://www.transcendusa.com/registration

Transcend
Exceeding Your Expectations

Transcend Information, Inc.

www.transcendusa.com